

社協だより

オレンジハート



社協HP



▲災害ボランティアセンター オリエンテーションの様子



▲側溝の泥出し作業(鹿島区)



▲サポートセンター希望開所式(平成23年10月)



▲仮設住宅サロンの様子



▲災害ボランティア感謝のつどい(平成23年8月)

「水を飲むとき、井戸を掘った人を忘れてはならない」徳を積み、感謝の心で。

また、仮設住宅入居者をはじめとした被災者の支援を目的に、サポートセンター「希望」を開所し、多くの方にご利用いただき笑顔と元気を届けることができました。現在も生活支援相談室では被災者訪問活動を行っております。

南相馬市社会福祉協議会では震災の翌日に災害ボランティアセンターを開所し、市民のニーズに応えるべく活動しました。全国から手弁当で、延べ9万人の方に支援をいただきました。

多くの市民が被災し、厳しい環境の中での避難生活を強いられました。震災孤児、遺児の子どもたちも多かったです。震災直後には避難により南相馬市は人口7万人から1万人に減りました。

平成23年3月11日の東日本大震災その後の原発事故から10年。犠牲になられた皆さまに哀悼の誠を捧げます。また、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

10年を振り返って

社会福祉法人
南相馬市社会福祉協議会

会長 西浦 武義

